

株式会社インタラクティブィ 番組審議委員会議事録

1. 開催日時： 令和4年7月29日（金） 14時00分～16時00分

2. 開催場所： JCOM株式会社会議室 3階 Room6 会議室

3. 委員の出席：

委員総数： 7名

出席委員数： 7名

出席委員の氏名：

（敬称略、五十音順）

植田 益朗、音 好宏、片山 哲郎、砂川 浩慶、村上 憲一、中川 幸美、吉岡 忍

放送事業者側出席者：

株式会社インタラクティブィ

代表取締役社長

笹島 一樹

取締役

高木 明夫

ジュピターゴルフネットワーク株式会社<ゴルフネットワーク>

代表取締役社長

前田 鎮男

取締役 編成部長

石上 健治

制作部長

小川 雅之

編成部

川合 勇樹

チャンネル銀河株式会社<チャンネル銀河>

代表取締役会長

古谷 太郎

代表取締役社長

林田 真由

取締役 編成企画部長

秋元 美加

編成企画部 副部長

伊妻 顕子

事務局：

JCOM株式会社

メディア事業推進部 木村 秀行、斉藤 弘之、河原畑 薫、廣田 結子

4. 議題

株式会社インタラクティブィで放送する6チャンネルの内、「ゴルフネットワーク」、「チャンネル銀河」の番組内容、編成内容について。

5. 審議内容

- ① 「ゴルフネットワーク」の編成およびオリジナル番組『銀座ゴルフ倶楽部』について、各委員より以下のような意見・質問がなされた。

—出演者の本音が垣間見えた一方、内容に引っ掛かりが薄く、もう少し気骨を感じる部分が欲しかった。出演者の人生にゴルフというスポーツがどのように影響したのか、出演者をもう少しジャーナリストティックに切り取るなど深掘りがあっても良い。

—トークのバランスも良く、楽しく最後まで見られた。ドローンを使ってのゴルフ場撮影も清々しく、キャスティング次第で今後も継続視聴してみたい。

—視聴者ターゲットはどこなのか。内輪受けの番組という印象が強かった。ゴルフ関心層以外の視聴者の目に留まるよう、CSならではの切り口としてもう少しエッジを利かせても良いのではないかと。

—ゴルフネットワーク内の放送番組において、他の番組がゴルフプレー中心の番組なのであれば、他番組との差別化として、トーク部分に重きを置いても良かったのではないかと。

—トーク中に、過去に出演した映画の話題が出てきたが、劇中写真やストーリーなどのインサートが出るなど、もう少し丁寧な作りが欲しかった。

—視聴者層はゴルフ以外にも興味を示す為、視聴者の興味を引きそうなゴルフ以外の話題を用意しておく、番組に奥行きが出るだろう。

—ゴルフ関心層以外にも広く見てもらおうという意思は感じるが番組構成にはもう少し起伏があった方が良い。

<事業者回答>

—より広い層ライト層に向けた番組であるが、構成にはもう少し工夫の仕様があると感じた。

—タイトルにある『銀座』というワードは富裕層を想起させるイメージがある為、もう少し幅広い層に刺さるワードを検討したい。

② 「チャンネル銀河」の編成およびオリジナル番組『福田こうへい・三山ひろし・市川由紀乃のふるさと自慢！埼玉編』について、各委員より以下のような意見・質問がなされた。

—演歌歌手出演の歌番組かと思いきや、釣り、ドローン、屋形船など様々な場面が登場し、面白かったが、時系列で編集しないと臨場感に欠ける。

—素晴らしい番組。演歌＝ステージというイメージだが、アウトドアというのが意外。歌は勿論巧い上に、アコーディオンとハーモニカが演奏する楽曲も大変良かった。

—埼玉＝秩父というイメージなのかは疑問。ロケ地もかなり広範囲だったため、もう少し構成を工夫すれば違和感がなくなるのではないか。

—自然音がどうしても入ってしまう河原での歌唱シーン収録は技術的に非常に素晴らしい。

—「ふるさと自慢」というタイトルがしっくりこない。「アウトドア演歌」など本編の内容に応じたタイトル名の工夫をして欲しかった。

—発想は面白いが、カンペが露呈するなど番組の作りは雑だった。外収録したのなら、川のせせらぎ音が入る、など生音に拘った方がアウトドアの魅力を伝えられたのではと感じた。

—屋外であればカラオケではなくアカペラでの歌唱シーンの方が良かった。

—【演歌とアウトドア】という意外性にビックリした。【ふるさと自慢と歌】というバランスは難しい為、歌にフォーカスして秩父以外のロケ地でも良かったのではと思った。

—アコーディオンとハーモニカが印象的だった。歌が始まると演者の表情が変わったのが印象的で、歌詞がしみじみと入ってきた。コンセプトも素晴らしく、故郷の歌と方言を伝承していきたいという意向は伝わったが、秩父といえば氷柱、夜祭など、もう少し秩父らしさを盛り込んでも良かったのではないか。

—CSチャンネルにおいて演歌歌手を取り上げるチャンネルはいくつかあるものの、外収録を盛り込むのはチャンネル銀河ならではと感じ、他チャンネルとの差別化に繋がっていると思う。

「ふるさと自慢」というコンセプトは東京に近い埼玉だったからか、【らしさ】が表現し辛かったが、地方によっては非常に刺さるはずなのでコンセプトは大変良い。

<事業者回答>

—タイトルと番組内容の違和感については、編成確定の都合上、タイトルを決めてからの収録となったため、致し方なく思う。

—元々は演者のふるさとを巡り、歌唱シーンと合わせて土地の魅力を伝える番組としたかったが、コロナ禍もあり、なかなかロケに赴くことが困難になったため、現在は番組名を「里山ライブ」に変更している。

以上